

2018年度 武蔵大学人文学部卒業論文報告会

ヨーロッパ文化学科

(日 時) 2019年1月30日(水) 13:00~17:35 (終了時間は進行状況により多少変動します)

(場 所) 武蔵大学8号館5階 8503教室

13:00-13:05 開会挨拶

13:05- 第一部 報告者発表

- 13:05 - 13:25 藤田嗣治の舞台美術 ～1920年代に手掛けた舞台美術は絵画作品に影響を与えたのか～
13:25 - 13:45 キーワードから読み解くアルフォンス・ミュシャ
13:45 - 14:05 世紀末芸術に見るオリエント —ビザンティン・リヴァイヴァル—

14:05-14:15 休 憩

14:15- 第二部 報告者発表

- 14:15 - 14:35 音楽劇における仮面と変装 —ミュージカルとオペラに見るその多様性—
14:35 - 14:55 Masken in der deutschsprachigen und japanischen Kultur der
Moderne im Kontext von Religion und Kunst
14:55 - 15:15 Ordnung ist das halbe Leben? Ein Vergleich: Ordnung in Deutschland und Japan

15:15-15:25 休 憩

15:25- 第三部 報告者発表

- 15:25 - 15:45 クラウス・マン『転回点』における3つの言葉について
15:45 - 16:05 『ルーゴン=マッカール叢書』における子を産すことの意味
16:05 - 16:25 第二帝政下パリ改造における 「ナポレオン3世神話」

16:25-16:35 休 憩

16:35- 第四部 報告者発表

- 16:35 - 16:55 ドイツ戦争責任論 ヴァイツゼッカー演説を中心に
16:55 - 17:15 ペスト大流行 —中世後期ヨーロッパの人間と社会—
17:15 - 17:35 東欧革命についての考察 —経済とメディア・外的要因の関連について